

アキアカネ

兵庫県：要注目

Sympetrum frequens

環境省：

種の概要

体長33～46mm程度。成熟した♂は腹部が赤化するが、頭部や胸部は赤化しない。♀は黄褐色に黒褐色の斑紋を有し、腹部背面がやや赤化する個体もある。平地から低山地の水田や湿地、池沼などに生息し、幼虫は沈積物の陰や泥の上などにうずくまっている。成虫は6月～12月に見られ、羽化した個体は山地の頂上付近や溪流沿いなどに移動して成熟を待ち、秋に羽化場所付近に戻って生息活動を行う。



写真提供：二宗誠治

国内分布

北海道、本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、芦屋市、宝塚市、三田市、高砂市、稲美町、播磨町、西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市、多可町、姫路市、神河町、市川町、福崎町、相生市、たつの市、赤穂市、宍粟市、上郡町、佐用町、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、篠山市、丹波市、南あわじ市



選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○					

特記事項

新規追加種

県北部では健在であるが、瀬戸内地方では極端に個体数が減少している。最も普通種であるトンボがほとんど見られない状態になっており、地球温暖化、米作の変化、農薬等の原因が考えられている。減少率は数千万分の1か数億分の1とも考えられ、減少率だけ見ればAランクに匹敵する。

保護上の留意点